

鴻巣市地域新エネルギービジョン検証報告書

プロジェクト	事業目的	事業内容	取組の現状	課題等	評価		環境基本計画への反映																					
					評価	今後の方向性																						
初期段階	エコ・インフォメーションプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用した新エネルギーの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページで新、省エネルギー及び、新・省エネルギー機器設置費補助金に関連する機器の内容や導入効果をホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 新、省エネルギー機器の多様化及び技術の急速な進展などへの対応 HPを利用しない市民への情報提供 スマートフォンやSNSの発達など、情報伝達手段の多様化への対応 	○	<ul style="list-style-type: none"> 今後も広報やホームページで情報を提供するとともに、SNSなどの有効活用を図る 	重点取組2-② 新エネルギーに関する情報を提供します。																					
		<ul style="list-style-type: none"> 助成制度の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの助成制度の創設 	H22より鴻巣市住宅用新・省エネルギー機器設置費補助金を創設補助金メニュー（H22～H29年度） <table border="1"> <tr><td>太陽光発電（H26まで）</td><td>667件</td></tr> <tr><td>エコキュート（H28まで）</td><td>234件</td></tr> <tr><td>潜熱回収型給湯器（H25まで）</td><td>183件</td></tr> <tr><td>ガスエンジン給湯器（H26まで）</td><td>4件</td></tr> <tr><td>エネファーム</td><td>157件</td></tr> <tr><td>太陽熱利用システム（自然型・強制型）</td><td>48件</td></tr> <tr><td>雨水貯留槽</td><td>30件</td></tr> <tr><td>HEMS機器</td><td>44件</td></tr> <tr><td>定置用リチウムイオン蓄電池</td><td>24件</td></tr> <tr><td>V2H（H29年度から導入）</td><td>0件</td></tr> <tr><td>V2H+電気自動車（H29年度から導入）</td><td>0件</td></tr> </table>	太陽光発電（H26まで）	667件	エコキュート（H28まで）	234件	潜熱回収型給湯器（H25まで）	183件	ガスエンジン給湯器（H26まで）	4件	エネファーム	157件	太陽熱利用システム（自然型・強制型）	48件	雨水貯留槽	30件	HEMS機器	44件	定置用リチウムイオン蓄電池	24件	V2H（H29年度から導入）	0件	V2H+電気自動車（H29年度から導入）	0件	<ul style="list-style-type: none"> 新、省エネルギー機器の多様化、技術の急速な進展などへの対応 高齢世帯の増加や固定価格買取制度の買取価格の低下、新、省エネルギー設備の投資効果への懸念などによる住宅用設備の導入意欲の低下 財源の確保 	○
太陽光発電（H26まで）	667件																											
エコキュート（H28まで）	234件																											
潜熱回収型給湯器（H25まで）	183件																											
ガスエンジン給湯器（H26まで）	4件																											
エネファーム	157件																											
太陽熱利用システム（自然型・強制型）	48件																											
雨水貯留槽	30件																											
HEMS機器	44件																											
定置用リチウムイオン蓄電池	24件																											
V2H（H29年度から導入）	0件																											
V2H+電気自動車（H29年度から導入）	0件																											
エコライフプロジェクト	住宅の光熱費の削減、周辺への普及啓発効果	<ul style="list-style-type: none"> 一般家庭への新エネルギーの推進（太陽光発電、太陽熱温水器、ヒートポンプ、燃料電池、クリーンエネルギー自動車など） 	<ul style="list-style-type: none"> 鴻巣市住宅用新・省エネルギー機器設置費補助金により推進 H28年度末までの補助件数（上記参照） クリーンエネルギー自動車は3台の電気自動車を公用車として導入、イベントなどでの啓発活動を行っている 電気自動車の急速充電器をエルミ鴻巣に設置 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電の固定価格買取制度や導入価格の低下などにより補助の必要性が低下 ヒートポンプ、燃料電池については省エネ効果は高いが、初期導入コストが大きい クリーン自動車の内電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車は、導入価格が高い、走行距離が短い、充電設備の普及が不十分 パリ協定の2030目標に向け、家庭部門のCO2削減のため一層の推進の必要性 	○																							
		<ul style="list-style-type: none"> 市民発電の創設（NPO法人や共同企業体を介して市民や事業者から資金を募り、太陽光発電や風力発電を設置し、そこから得られた利益を活用して、出資者へ還元し、地域産業の活性化を図る。また、市内の公共施設の屋根や未使用地を市民発電所の用地として貸し出す。） 	<ul style="list-style-type: none"> 箕田公民館、総合体育館の屋根を事業者に貸し出し発電を行っている 市民発電所の取組は進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 売電価格が下落しているため、採算がとれない 市民発電所や市民ファンド等のNPO法人の設立、運営意欲を有する人材の確保が困難 	□	<ul style="list-style-type: none"> 条件が整えばその段階で検討 																						
エコ・ネットワークプロジェクト	市民や事業者の新エネルギー発電事業への参画 地域特性の異なる都市との交流	<ul style="list-style-type: none"> 風力発電の友好都市などとの連携設置 	<ul style="list-style-type: none"> 未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 売電価格が下落しているため、採算がとれない 取組を進めている友好都市等の適地がない 環境アセスや周辺住民の理解など、施設設置までに時間がかかる 	□																							
		<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の有効活用車の燃料へ利用 農業用ボイラへの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 水道協同組合に業務委託し、公共施設、保育所などに回収拠点を設け、回収した廃食油をバイオディーゼル燃料化している 回収車の燃料として利用していない（回収車は電気自動車を利用） 精製したバイオディーゼル燃料は中学校給食センターのボイラ燃料として利用 	<ul style="list-style-type: none"> 廃食油の回収、精製コスト 家庭から収集した廃食油で精製したバイオディーゼル燃料は品質が安定しないので車両への投入は不向き 車両への使用の場合は軽油引取税がかかる 	△	<ul style="list-style-type: none"> 廃食油の回収及び精製は継続して行う 	重点3-② 廃食用油のリサイクルを推進します。																					
フラワー油田プロジェクト	遊休農地の有効活用 車の燃料へ利用 農業用ボイラへの活用	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地でのエネルギー作物栽培、食用油の精製、流通 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地でのエネルギー作物栽培、食用油の精製、流通は未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地が市内各所に散在しており、まとまった面積を確保できないことに加え、作付と同時に、管理、収穫、精製、販売方法等の課題が多い 	□	<ul style="list-style-type: none"> 条件が整えばその段階で検討 																						
		<ul style="list-style-type: none"> 学校の屋根などへの太陽光発電の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 吹上小学校、吹上中学校に導入 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備の設置場所と建物強度確保が課題 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新や耐震改修などの際に導入を検討 	重点取組2-② 市の施設での省エネルギーを進めます。																					
環境教育プロジェクト	新エネルギーの普及促進 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電、ペレットストーブ、小型風車などの新エネルギーの授業や教材への活用、環境教育の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電以外の新エネルギーの導入は進んでいない 環境教育では環境教育副読本「エコアップこうのす」の活用及び、年2回行っているエコライフデイの参加により促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題や地域の環境保全に向けては、子どもの頃からの環境教育、学習が今後さらに必要 	○	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育、学習の教材の充実と提供を進める 	基本5-① 環境教育、学習の教材の充実と提供を進めます。																					

○ 継続的に取り組む
△ 内容を見直して取り組む
□ 条件が整えばその段階で検討

鴻巣市地域新エネルギービジョン検証報告書

プロジェクト	事業目的	事業内容	取組の現状	課題等	評価		環境基本計画への反映	
					評価	今後の方向性		
中期段階	安心・安全なまちづくりプロジェクト	防犯効果 災害時の誘導灯と避難所の電源確保	<ul style="list-style-type: none"> 通学路を中心として太陽光発電を利用した防犯用街路灯を導入 通学路に太陽光発電を利用した街路灯の設置はしていないが、一部公共施設に導入 災害時の避難所の照明として市内小学校7校に太陽光発電を利用した街路灯を設置、指定避難所に毎年1施設に設置している 防犯等のLED化を進めている 	<ul style="list-style-type: none"> 導入、管理コスト 防犯等には節電効果及び耐久性を考慮しLED防犯灯の導入を進めている 	△	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所での設置を検討 	重点取組2-② 市の施設での省エネルギーを進めます。	
		防災拠点へ太陽光発電の導入	<ul style="list-style-type: none"> 吹上小学校、吹上中学校、箕田公民館、田間宮生涯学習センター、総合体育館、市役所、両支所に導入 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備の設置場所と建物強度確保が課題 導入コスト 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新や耐震改修などの際に導入を検討 		
	エコ・ファームプロジェクト	農業振興 農業用ハウスの経費削減	農業施設へヒートポンプの導入	<ul style="list-style-type: none"> 花卉栽培、園芸施設の暖房設備のほとんどは重油を燃料とした加温機で、ヒートポンプの導入は数件にとどまる 	<ul style="list-style-type: none"> 導入コストの高さ 導入支援制度の財源確保 	□	<ul style="list-style-type: none"> 条件が整えばその段階で検討、普及啓発を中心に行う 	
			農業用ボイラ燃料のバイオ化	<ul style="list-style-type: none"> 当初は精製したBDFをフラワーセンターに投入していたが、現在は全て中学校給食センターに投入している 				
産業振興プロジェクト	光熱費、燃料費の削減 企業の環境への取組の促進	事業所への太陽光発電の導入	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税の標準課税の特例措置を受けている固定資産価格が平成26年度と平成27年度を比べた時に、約2倍になっていることから導入は促進されてきていると推測される 	<ul style="list-style-type: none"> 導入可能な事業所ではすでに導入されていると推測される 導入支援制度の財源確保 	□	<ul style="list-style-type: none"> 条件が整えばその段階で検討、普及啓発を中心に行う 		
		業務用車両のクリーンエネルギー自動車への転換	<ul style="list-style-type: none"> クリーンエネルギー自動車は購入価格が高いため導入はあまり進んでいないと推測される 	<ul style="list-style-type: none"> クリーン自動車の内、電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車は、導入価格が高い、走行距離が短い、充電設備の普及が不十分 世界的にはEVシフトが進んでおり、長期的には導入が進む可能性 				
思いやりプロジェクト	福祉の向上 福祉施設の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> 病院、福祉施設を中心とした公共施設へのヒートポンプや燃料電池、太陽光発電、太陽熱温水器の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 導入コストが大きいこと既存施設の更新時期や建物の強度問題により導入が進展していないと推測される 	<ul style="list-style-type: none"> 導入コスト、既存建物の強度問題 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新や耐震改修などの際に導入を検討 	重点取組2-② 市の施設での省エネルギーを進めます。	
長期段階	用水活用プロジェクト	条件が整備されれば、検討段階に進めるプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 用水路でのマイクロ水力発電 	<ul style="list-style-type: none"> 未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 発電するための豊富な水量と十分な落差が必要であること等の条件にあった適地がない 落差の少ない水路でも利用可能なマイクロ水力発電の技術開発が課題 	□	<ul style="list-style-type: none"> 条件が整えばその段階で検討、普及啓発を中心に行う 	
	木質バイオマス活用プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> チップ、ペレットを用いたストーブ、ボイラなどの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内及び隣接市町とも、豊富な木質バイオマス資源がなく、ペレット製造事業所もない ペレット及びチップ等木質バイオマスの入手・調達コスト面での課題 	□	<ul style="list-style-type: none"> 条件が整えばその段階で検討、普及啓発を中心に行う 		

○	継続的に取り組む
△	内容を見直して取り組む
□	条件が整えばその段階で検討
評価	今後の方向性